温だよ

医療法人財団 荻窪病院 広報誌

2023年12月15日発行 発行責任者:布袋 祐子 企画/編集/印刷 地域連携室 〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 代表 TEL:03-3399-1101 地域連携室直通:03-3399-0257

感謝を込めて

Anniversary

いう時に思い

さまに必要と

される病院であるために

1933年 昭 してスタート 8 東京工場の診療所と年 中島飛行機株式会社 日に至ります。 年に医療法人の認可を得て、 に病院として独立。 行 院の始まりです。 京工場内の小さな診療所が、 東京工場の診療所と 機株式会社が解体され 戦後、 1 9

数の 「中島飛行機株式会社」 90 院 周年を迎えま は 航空機 2 0 2 メ 3] 年 力 L 中島 12 た。] 5 た際 で 月 当 東 今 0 飛 あ 世 で めに によ 0 1 \mathcal{O} \mathcal{O}

った

界 開

有 設 当

たな産 工場でし 暮らしは豊かとは言えず、 な あ その昔、 カュ 0 村 たりは農地ば ったら荻窪 7 長 業と雇用を生み かも・・・し た。 誘致され (T) 井荻村と呼ばれたこ 並 もし、 々な れませ たの 5 かりで人 病 誘致され 院はな め 尽力 出す が 東 * 新 . Z 7 京 た

> など、 個 ら守るため、 人宅の提供を受け分院する 戦 時中は患者さんを空襲か 古くからの地域との 近隣医療機関や 関

院に対する皆さまのご 係を記す こ支援があ 記録もあります。 ってこその 理 90 解 周 病

年。 ならな \mathcal{O} 皆さまにとって 当院はこれからも、 い病院」 であり続ける 「なくては 地 域



*1936*年 (昭和 11 年)

階建ての「中島飛行 鉄筋コンクリート2 機附属病院」となる

*1968*年 (昭和 43 年)

の方も多いですの荻窪病院を逆工の当時

(平成6年)



の病院に成長 264床・診療科11 現在の7階建てに。



2023

(令和5年) 機能しています 地域の中核病院として て急性期機能を強化。 2 0 13年に別館を建 駅の誘致、 道路整備、 杉並の街づくりの偉人とされ、 ※当時の村長、 内田秀五郎氏

見もあった中、 敷設など多大な功績を残しまし した工場建設の約束を取り (参考文献「内田秀五郎伝」)。)あった中、環境維持に配慮東京工場の誘致には反対意 村に発展をもたらしました 小学校の増設、水道の 西荻窪駅や西武線3



よう、

職員

同

1

井荻村と荻窪病院のミニトリビア

.ります。

Ogikubo Hospital Topics

働く仲間を迎えました ンドより、

ょ

外国 患者さんのお世話をします。どう えました。 働省『特定技能 者)として、 病棟のナースエイド (看護補 23 人スタッフをインドより 年 定の専門性・技能を有する 11 月 看護師の指示のもと 「介護」」 当院は厚生労 制度のも

よろしくお願いいたします。



の痛みに再生医療を APS療法のご紹介

生医療で、 踏 た医療機関のみ実施が可能です。 を膝に注射 いただきたいの 分など関節の健康に関わる成分) ―で行っている「APS療法」 (自己タンパク質溶液・抗炎症 み切 膝 自己血より採取したAPS \mathcal{O} 痛 れ な 4 様 が マな基準をクリアし 0 痛みを和らげる再 が、 5 そんな方に検 膝関節セン 11 が 手 術 に で 成 タ は ご覧ください。

を解説していますので、 みが改善しない方、すぐに手 自 ル 税 費診療となり片 口 できない方に適してい 当院 込 ン酸などの保存療法で痛 と高額ですが ホー À ージに詳細 膝 33 万円 ヒ ま T

会場の勤労福祉会館 ター協議会 協働事業)。 ←前回の 「みんなの健康講座」 の様子です

2月 2) にて、健康講座を行います。 みんなの健康講座」を 勤労福祉会館(杉並区桃井 寒い冬を乗り越えよう! 日(土)午後に開催 4 3 !!

年内は12月29日(金)まで、年始は1月4日(木)より外来診療をいたします

ぜ ホ

ムページ等でご案内いたします。

ご予定ください

(西荻地

域区民





方針

患者さんへ安心で信頼される医療を提供します。 職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

- 1.急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
- 2.個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
- 3.豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。

器科の医師6名による講演、【第二部

·外科·整形外科·脳神経外科·泌尿

部

は当院

の内科・循環器内

ある講座を企画しています。

お申し込みは

1

月中旬より当

院

は噺家さんよる落語と、

学びと笑

4.経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

